

安心 夢 笑顔

育成会だよい

発行 社会福祉法人 豊田市育成会

〒471-0831 豊田市司町3丁目61番地1

TEL 0565-77-5611 FAX 0565-77-3557

E-mail t-ikuseikai@hm.aitai.ne.jpURL <http://t-ikuseikai.jp>

あたり前に地域で暮らす

「豊田市育成会の目指すものは、安心、夢、笑顔の持てる地域づくり、場づくりです。」と誓って立ち上げ、はや5年。思えば国の障がい者福祉制度の変更等、いろいろと私たちを取り巻く環境の変化がありました。また、昨年の1月には140番目の締約国として国連の障害者権利条約が批准され、ノーマライゼーション社会が確かな足音を立てて我が国にもやってきました。その間、職員も増え、共に頑張ってくれました。豊田市育成会は、会員制の社会福祉法人です。オーナーは会員一人ひとりです。そして、後援者は賛助会員の皆様で構成しています。

社会福祉法人を設立して今年は5周年目を迎える節目の年です。本人や家族の「地域でのあたり前の暮らし」を支える思いは不变です。会員は、福祉サービス事業所にわが子を預ける保護者というだけではありません。安心、夢、笑顔の持てる地域づくり、場づくりに向かって共に進める同志の意識を大事にしながら、「一人が皆のために、皆が一人のために」の心意気で、誰もが住みよい地域づくりを目指しています。今後とも、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

社会福祉法人豊田市育成会
常務理事 古井 鎮信

青年学級開講から1年 活動の振り返りとこれから



絵画コースの様子

□今年度の青年学級1年間を振り返ってみました□

クラス活動 11回、コース活動8回のボリュームあるカリキュラムをクリアして、修了証を授与された学級生（6割以上の出席者）が19名います。豊田市青少年センターを拠点として一年間活動してきましたが、そのほかに福祉センター、自然観察の森、民芸館などいろいろな施設へ行き、新しい体験をして多くのことを学びました。青年学級で同じ仲間と一年間目標を持って、楽しく活動した体験は、最後の授業で学級生それぞれが思いを込めて制作した「青年学級活動アルバム」に、生き生きとした成果として残っています。たくさんの思い出が詰まったアルバムです。是非一度ご覧いただきたいと思います。

●保護者の皆さんの感想です

【高岡支部 太田枝理子】エコクラフトのことをよく知らずに軽い気持ちで選びましたが講師の方がやさしくて明るい方だったので、順調に終えることができました。これからも幅広い内容の企画をしていただけたらと思います。

【中央支部 稲石ゆかり】絵画コースに参加させていただきました。毎回ヘッポコピ～な絵を描く優に、とにかく先生は温かい言葉かけ続けてくださいました。そしてなんと半年後、優は味のある自画像と私の似顔絵を描きあげました。感動でした。おでかけあり、芸術センスの向上ありの青年学級に、是非次年度も参加させたいです。この先余暇を過ごす手段を増やすことは、きっと優の武器になるはずです。

【高橋支部 川村夕紀子】ジョイナスが休みの土曜日を有意義に過ごさせたいという思いで青年学級絵画コースを受講しています。講師の先生は、息子がどんな絵を描いてもほめて下さいます。集中して絵を描ける貴重な時間を、親子で共有することができました。

□平成27年度青年学級生を募集しています□

現在、平成27年4月から始まる青年学級生を募集しています。仲間づくり、親睦活動、モノづくりにチャレンジ等コミュニケーション能力を向上させ、楽しく現代社会に適応する能力を身に付けるクラス活動と、趣味を活かし豊かで潤いのある生活を目指すコース活動の二つの活動を核とする基本は変更ありません。また、活動拠点が豊田市青少年センターであることも変わりません。クラス活動は1年生と2年生は別のカリキュラムで学習しますが、趣味を活かしたコース活動では一緒に学習します。但し、平成27年度のコース活動は、絵画やエコクラフトコースは前年度と同じですが、音楽コースがJポップコースに変更となりました。リズムに乗った楽しいダンスを身につけて、年末のふれあい交流会で発表しましょう！

絵画コースとエコクラフトコースを選ばれた皆さん、年末の障がい者作品展への出品を目指して活動していきます。楽しい企画が盛りだくさんの青年学級講座です

●参加できる人：豊田市内に在住もしくは在勤の知的障害のある15歳以上40歳未満の人で、介護を要しない人（身辺自立が可能な人）ならどなたでも青年学級に申し込みます。

平成27年度の青年学級は2学年制となります。一般募集する1年生とは別に、現在の青年学級生で修了者（6割以上の出席者）を対象に2年生の募集をいたします。詳しくは本部事務局（☎77-5611）まで！ 皆さんの参加をお待ちしています☆



地域社会と共に歩む社会福祉法人を目指して

豊田市育成会の重点項目のひとつに『施設のオープン化』があります。一年を通じて各ジョイナスでは地域でのゴミ拾い活動や立哨活動、バザー出店などを行い、福祉啓発事業では音楽祭「Piece」やふれあい交流会の開催、広報誌「育成会だより」の発行等を通して、地域へ積極的に参加・交流し、地域社会と共に歩む施設づくりをすすめています。今回はジョイナスふれあい(喜多町)とジョイナスたかおか(若林西町)の地域交流への取り組みをご紹介します。

ジョイナスふれあいは、シルバー人材センターが管理しております福祉就労施設「ふれあいの家」の中に事業所があるためか、事業所のことを聞かれるたび、まずシルバー人材センターを案内し、その中に事業所があることや障がい者就労支援施設であることをお伝えしておりました。それほど地域におけるジョイナスふれあいの周知度は高くはありませんでした。今まで崇化館中学校や挙母小学校等との交流は行っておりましたが、地域への広がりまでには至りませんでした。そこで、昨年11月に開催した「第2回ふれあい祭2014」には三区の区長さん、民生・児童委員さんをご招待し、利用者の作品やクラブ活動発表をご覧いただきました。皆さんからは、「初めて知った、来て良かった。」とお話しいただきました。また利用者の作った玉子ボーロ、保護者会役員によるおでん等の「ふれあいおもてなし」では、区長さんや民生・児童委員さんと笑顔で話す利用者の姿がとても印象的でした。(やって良かった)

地域・行政(福祉施設を含む)・家庭の支援のトライアングルこそが、地域での安心・笑顔の暮らしを可能とし、そして夢の実現に繋げる唯一の方法ではないかと思います。ジョイナスふれあいはこれからも「地域と共に」をモットーに、地域福祉の一端を担う一員で在り続けたいと考えております。

ジョイナスふれあい管理者 正木 義則



ジョイナスたかおかは作業所時代を含め開設以来13年目を迎えました。開設2年目に作業所のPRと地域との交流を深めることを目的に、利用者や保護者・支援員が協力して地域交流会が始まりました。おかげで回を重ね第11回目を開催することができました。

たかおか地域交流会の開催にあたっては2週間前から飾りを作ったり、飾り付けを行ったりと利用者や保護者・支援員は前日まで大忙しでした。また、たくさんの方に来場してもらう為、作業の合間に縫って寒さにも負けず、チラシを各家庭に配ることもやりました。前日には来場者に気持ちよく過ごしてもらう事ができるようにと、全員で一生懸命に掃除をして館内をきれいにしました。

交流会当日は障がいを持ちながらも太鼓の演奏活動をがんばっている「はっぴY」と「明太鼓」の

演奏から始まりました。午前中は、自主製品販売やおでん販売に多くの方が来場していただき満席の状態でした。その中で民生委員さんの協力を得ながら、利用者さん達はおでんを運んだり販売したり、一生懸命に活動してくれました。

多くの方に支えられながら開催でき、また、たくさんの方に来場していただいたということは、ジョイナスたかおかが地域に認められ、地域と共に歩み始めている証しではないでしょうか。 ジョイナスたかおか管理者 副島 英雄



平成 27 年

新成人のつどい

「夢」



厳かに入場



成人の火が灯りました。



沢山の来賓の皆さんにお祝いしていただきました。

晴れやかな天気に恵まれた平成 27 年 1 月 18 日(日)、西部コミュニティセンターにて新成人のつどいを行いました。今年は平成 6 年 4 月 2 日～平成 7 年 4 月 1 日生まれの会員対象者 10 名が出席しました。式典には沢山の方々がお祝いに駆けつけて下さり、新たな門出を祝福しました。



来賓の皆さん、ありがとうございました。



保護者から新成人へ門出の言葉が贈されました。



大豊工業様より記念品を授与されました。



Jさかえアンサンブル風



オカリーナふるさと&Jえかく



恩師からもお言葉を頂きました。



新成人のつどいは式典とパーティーの二部構成で行ないました。式典ではたくさんの来賓の皆さんがあなれに駆けつけてください、またパーティーでは「ジョイナスさかえアンサンブル風」による手話合唱と、「オカリーナふるさと&ジョイナスえかく」のジョイントオカリナコンサートで新成人の皆さんをお祝いしました。

新成人のつどいはレクリエーション委員会が中心となり、パーティー料理は中央支部と高岡支部が担当しました。

「笑顔」

ふれあい交流会



平成 26 年 12 月 14 日(日)つかさ本部多目的室にて、ふれあい交流会を行いました。今回は衆議院議員総選挙のため急遽会場の変更があり、大幅なプログラム変更にも関わらず沢山の来場者があり、逢妻中学校生や高校生ボランティア、中京大生ボランティア、豊田法人会の皆さんのご協力と、会員スタッフが一丸となり、心温まるふれあい交流会となりました。



豊田法人会のサンタさん登場！お菓子のプレゼントを頂きました。ありがとうございました。

音楽療法「りづ夢」による発表



高校生ボランティアの皆さん、逢妻中学生の皆さん！ありがとうございました！



中京大ボランティアの皆さん
は司会とゲームをしました。



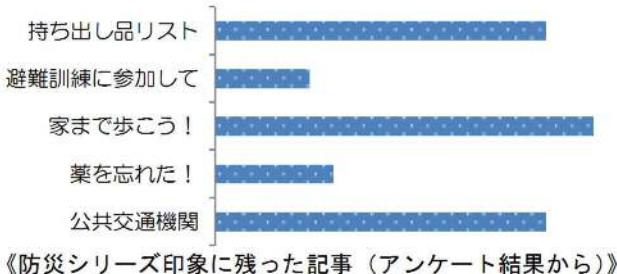
「ぼっしーず」とアナ
雪合唱団による寸劇と
「アナと雪の女王」の
合唱



青年学級「音楽コース」生徒の
楽器演奏発表

そなえよ！つねに！=企画委員会防災シリーズまとめ=

今年度、企画委員会では急な災害のために備えておきたいことについて考え、育成会だよりを通して皆さんに発信してきました。



アンケートの結果を見ると、何のために、誰のために備えるのか、皆さんが十分に理解している様子がわかります。記事を読む前から、いろいろなものを準備していた方や、読んで気付いたことや知っておくべきことがあったという意見が多くありました。

必要なものは、人それぞれ異なります。自分たちにとって「これは必要！」と考えるものを持えられると良いと思います。

.。.:.*'☆。.*...*★:.*'°*;.*'°★°';*..。.*...* *..。.*:.*'☆。.*...*★:.*'°*;.*'°★°';*..。.*...* ☆。.*...*★:.*'°*;.*'°★°';*

私たちにできること

◎病院で処方された薬は、自宅に近い薬局で受け取る

▶地域の薬局とつながりを持つために

◎本人に連絡先カードを持たせる

▶誰かが声をかけてくれた時のため

◎周りの人に挨拶をする。地域の催しに参加する。

▶障がい者の存在を知ってもらうため、自分たちが地域のことを知るために

◎自家用車以外の移動手段を考えておく



外部にお願いしたいこと（アンケートの結果から）

◎タクシー料金助成券以外の、障がい者への交通手段に対する補助を考えてほしい。

タクシーを利用する機会が少なく、せっかくの助成券が生かしきれない。

▶豊田市の市民相談室に提案します

◎公共交通機関

・知的障がい者の避難誘導について考えてほしい。

・字の読みない障がい者にもわかりやすくしてほしい。

マナカなどの残金、愛環など単線の電車の進行方向表示→グラフや絵図で示してほしい

▶各公共交通機関のHP（意見コーナー）に送ります



☆ 障がい者対象のタクシー料金助成券は（豊田市の場合）☆

療育手帳を提示するだけでも、タクシー料金は1割引きになります。

さらに、タクシー料金助成券を利用すると、1割引かれた額の半額を負担するだけで済みます（必ず障がい者本人が乗車すること）。

支部活動報告！

【笑顔】

いちご狩りに行きました！



●上郷支部では高橋支部の皆さんと一緒にいちご狩りを楽しみました。総勢40名の参加それぞれ沢山の甘いイチゴを頬張り、とても楽しいひと時を過ごしました。我が息子も6年前に家族で行った時には一粒も口にしませんでしたが、今回は自分でぎ取り7粒ほど食べました。楽しい思い出がひとつ増えた一日でした。 上郷支部長 山田ひづる

●猿投支部では28名の会員が参加しました。練乳の入ったトレーの中に沢山のいちごを入れベンチに座り話しながら食べたり、イチゴを探りながら食べ歩きとそれ楽しみました。皆さんから「美味しい」「甘い」という声が聞かれ、この企画をしてとても良かったと思いました。皆さんに参加して頂くことで交流を深め、支部活動を盛り上げていきたいと思っています。 猿投支部長 伊奈広美

●高橋支部では、制限時間45分のイチゴ食べ放題でしたが、ほとんどの会員が20分程で「あ～、お腹いっぱい！お店で売られているイチゴの何パック分食べたかしら？」と言って手を休めていました。何日分のビタミンCが取れたかな？ 高橋副支部長 橋本幸代



その他、次年度に向けて各支部では随時支部会が行われています。支部会へ積極的に出席し会員の連携を深め、支部活動を充実していきましょう！



素敵な音色をありがとうございました！



豊田市コンサートホール・豊田市育成会企画委員会主催

コンサートホールがやってきた！

「こころとからだで感じる音楽会Ⅱ」

2月22日(日)企画委員会では、昨年に引き続き、名古屋フィルハーモニー交響楽団の皆さんをお招きして、弦楽四重奏によるアウトリーチコンサートを開催しました。進行役の井上さんの軽妙なトークと、プロの生演奏に多くの会員が耳を傾けました。

育成会の動向

●育成会の動向（平成26年12月～平成27年3月）

- 12月 1日(月) 育成会だより第15号発行
12月 3日(水) 障がい者作品展に展出(36点)
～14日(日) ●佳作 手芸の部
「ウサギとカメ」玉越哲也さん
「北欧の仔馬」JつかさKITTO工房
「まふゆのはなびもみにおいでん」
くらぶ・きずなっくす
「かごパック」青年学級クラフト
●佳作 写真の部
「うろこぐも」磯谷朋美さん
12月 7日(日) ジョイナスたかおか
第11回地域交流会 参加者200名
12月 14日(日) ふれあい交流会(本部多目的室)
参加者204名

- 12月20日(土) 第3回理事会、第3回評議員会
議案
職員給与規定の一部改正について
職員賞与の改定について
平成26年度12月補正予算について
12月26日(金) 仕事納め式
1月 6日(火) 仕事始め式
1月18日(日) 新成人のつどい
新成人10名 参加者142名
2月21日(土) 就労支援施設等運営委員会
議題
平成26年度第3Q目標進捗状況報告
平成27年度事業計画(案)についてほか
ジョイナス会長会
企画委員会主催 参加者60名
「こころとからだで感じる音楽祭Ⅱ」

「笑顔」

和モダンクロス 裂き織り 製品紹介コーナー

裂織（さきおり）とは古くなった布を細かく裂いて、麻糸などと共に織り上げた再生衣料です。江戸時代の中期、東北地方に起源が見られ、古布とはいえ安いものではなかったために、17世紀には貴重品として発展しました。モノが豊富な現代に裂き織りが復活しているのは、その独特的な風合いや素材感、鮮やかな色彩が、通常の布では作りだすことができない製品を作ることができるからです。

ジョイナスふれあいでは着物をほどき、裂いて、経験を重ねた織手が木綿の織糸と共に3台の織り機で、すべて手作りで作る裂き織りを「和モダンクロス」として製品化しています。

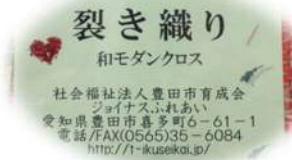
懐かしくてあたらしい製品を、ぜひ手に取ってみてください。



綾(あや)をとりながら、簀(おさ)に通して経糸(たていと)を整経(せいいけい)して、織り機にセットします。



踏み板を操作して、経糸を上下に分けて開口し、杼(ひ)につないだ緯糸(よこいと)を通して、簀を手前に打ち、経糸と緯糸を組みます。



12月補正予算を承認

お知らせ

12月20日(土)に第3回評議員会、理事会が開催されました。業務の重要さを考慮し、サービスの質の向上と働き甲斐のある職場風土を醸成するために、副所長級および主任級の手当の引上げ、また、社会経済情勢により今年度の国の人事院勧告や業績等を考慮し、もって職員の働く意欲に寄与するために年間賞与額を0.15ヶ月増加改定し承認されました。また、12月補正予算が承認され、補正後の予算額は11,718千円の増額となり、収入は299,373千円、支出は326,710千円となりました。収入増の主なものは、障害福祉サービス等事業収入12,333千円、支出増の主なものは、職員の手当増に伴う支出415千円、ジョイナスさかえ支援環境改善スペース確保による建物リース料180千円です。

編集後記

ある講演の話の中でタレントの笑福亭鶴瓶さんが守っておられる事を紹介された。「家をきれいにする、約束を守る、お礼の手紙を書く」こういった事をきっちりと続けることが、自分という型の基本をつくってくれたそうです。この言葉になるほどと思い感銘を受けた。そこで私も身の周りの「整理整頓」を心掛けよう決めました。これから先、鶴瓶さんのように「ぶれない」で継続したい。

(五十玉)